

滋賀 × SDGs

SDGsは「未来との約束」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



経済・社会・環境の調和のとれた滋賀を次の世代へ



滋賀 ×SDGs

滋賀県には琵琶湖を健全な姿で次世代に引き継ぐための環境保全活動や、近江商人の「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）」の精神などSDGsにつながる考え方が息づいています。

滋賀県は、県の政策にSDGsの視点を活用するとともに、経済界、大学等の多様なステークホルダーとのパートナーシップを拡大しています。

滋賀県 人口 1,412,916人
面積 4,017.38 km²
平成27年10月1日現在（国勢調査）

滋賀×SDGs ワークショップ・実践交流会

2018年10月から12月まで、持続可能な滋賀を考えるワークショップと実践交流会を大津、近江八幡、米原で開催しました。高校生から80歳を超える幅広い年代の述べ100名の方々に参加をいただき、持続可能な滋賀を実現する「SDGs行動宣言」や、パートナーシップのあり方について議論を深めました。



持続可能な滋賀を実現するSDGs行動宣言



シンポジウム 2017.6 「サステナブル滋賀×SDGs」

環境や貧困などの問題は一国では解決できない。みんなが豊かになるために、経済を持続可能な形で成長させ、富を分かち合おう。

今、世界が試されている。助けを必要としている人を取り残してはいけない。一人ひとりの皆さんの努力が、希望を生む。

国連のトーマス・ガス
事務次長補の基調講演より



シンポジウム 2018.4 「アリス・ウォータースさんに学ぶ 食・農・暮らしの持続可能な未来」

私達は健康や地球環境のために、食べ物の食べ方、買い方などに対する価値観を見直すべきであり、そのために子ども達に食を使った教育を行うことがもっとも重要だ。すでに滋賀ではその取組が始まっており、日本中、世界中のお手本になって欲しい。

アリス・ウォータース氏の基調講演より
※米国で、食を題材とする教育（エディブル・スクールヤード活動）や、スローフード運動に取り組んでいる。





エディブル・スクールヤード の取組に通じる活動 (農業体験学習「たんぼのこ」)



多くの公立小中学校では、児童生徒が、米や野菜などを育て、収穫し、食べるという学習活動を通じて、自然・環境・いのち・地域・つながりの大切さなどを学んでいます。



環境 こだわり農業



農業、化学肥料を使用しないオーガニック農業など、琵琶湖の保全や生物多様性保全につながる持続可能な農業を推進しています。



滋賀県立大学 SDGs宣言

滋賀県立大学では地域住民とともに、SDGs達成に向けた活動による人材育成や地域の持続的発展への貢献に取り組んでいます。

ア
ク
シ
ヨ
ン
S
D
G
s
滋
賀
で
広
がる
Mother
Lake



遊べる・学べる 淡海子ども食堂

食事や遊び、学びを通じて子どもたちが地域の人とつながる共生の居場所「子ども食堂」の活動を支援しています。



滋賀SDGs ×イノベーションハブ



産金官が連携し、社会的課題解決につながるイノベーションを創出するとともに、新たなビジネスモデルの発掘・構築を目指します。



県内 金融機関の取組

県との包括的連携協定の一環として、社会的課題解決に寄与する事業などに対し県内金融機関が積極的にサポートする新たな金融商品づくりに取り組んでいます。

滋賀銀行
「ニュービジネスサポート資金 (SDGsプラン)」、
「SDGs 私募債『つながり』」

関西アーバン銀行
「びわこ・みらい活性化ファンド (FUNAZUSHIファンド)」、
「全国版CSR私募債～SDGs推進ファンド～」



ぜひ参加してみませんか！ 「滋賀×SDGs交流会」

持続可能な社会に向け、社会のあり方を変革していくためには、パートナーシップが重要です。SDGsで多様な人々がつながる場として「滋賀×SDGs交流会」を設立しました。2018年11月に開催した第1回交流会には、企業、団体、学生、自治体等、様々な方が集いました。皆さまの参加をお待ちしています。



持続可能な開発目標とは？

SDGs / Sustainable Development Goals-持続可能な開発目標 (エス・ディー・ジーズ)

私たちは、地球を救うことができる最後の世代となるかもしれないと言われています。

私たちの生活は、人・物・サービスなどあらゆる面で世界とつながり、便利で豊かになりました。しかし、この便利な生活が、世界各地で貧困、食料・エネルギー不足、気候変動などの問題を引き起こしています。加えて、将来の世代に残すべき資源も先食いしてしまっています。

SDGsは、すべての人が将来にわたって、平和で豊かな生活を送れるようにすることを目指す17の目標です。発展途上国だけでなく先進国も含む世界全体の共通目標として、2015年国連サミットで採択されました。

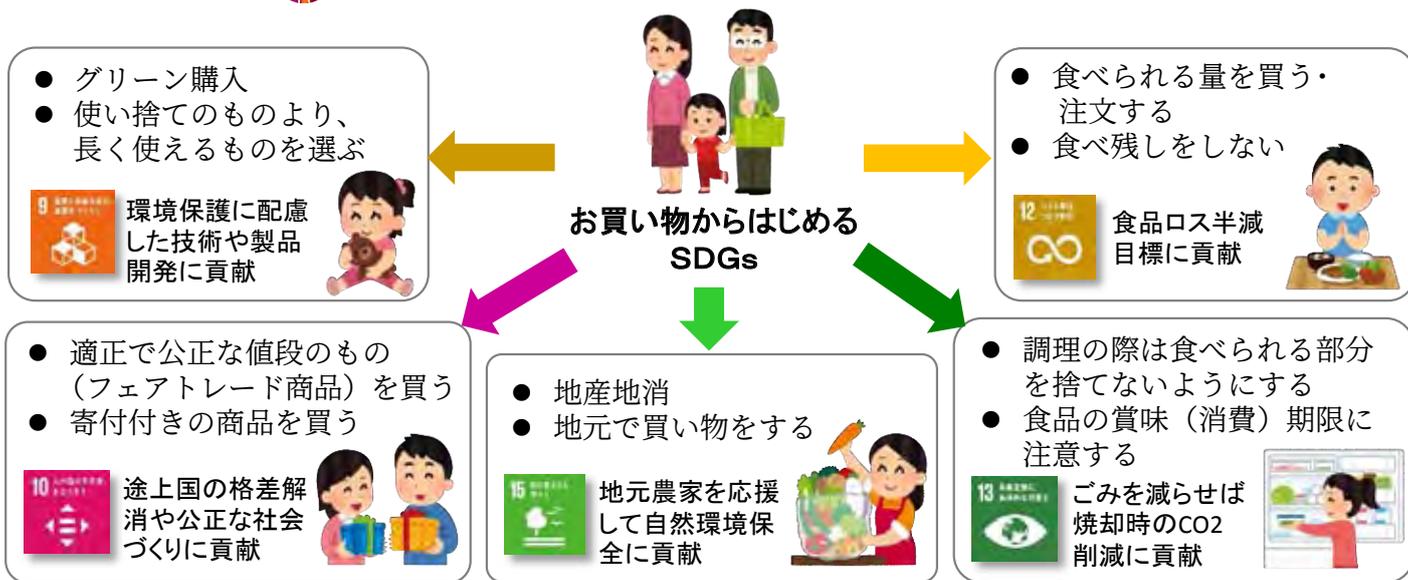


もっとよく知りたい方へ
<http://www.unic.or.jp/>
 国連広報センターホームページ（日本語）

SDGsは、2030年までに、世界を経済・社会・環境のバランスのとれた社会へと変革することを目指しています。

また、「誰一人取り残さない」をキーワードに、すべての人々が幸せになることを求めています。持続可能な社会をつくるためには、一人ひとりの行動を変えていくことが大切です。あなたの一歩が、世界の未来を変えていきます。できることから、始めてみましょう。

今日から始められるSDGsアクション



SDGsアクションへのヒント

エシカル消費（倫理的消費）

人や社会、地域、環境に配慮したモノやサービスを“選んで”消費をすることを言います。日常の買い物に“エシカルな目線”を加えましょう。

食品ロス削減

食べ物は、作るときにも捨てるときにも、エネルギーを消費し、二酸化炭素を排出します。大切な食べ物を無駄のないように消費しましょう。

滋賀県のホームページやSNSでもSDGsを紹介しています

- ▶ 滋賀県ホームページ「SDGsの普及および実践に係る滋賀の取組」
[滋賀県 SDGs](#) [検索](#)
- ▶ Facebookアカウント：滋賀県企画調整課・サステナブル滋賀×SDGs
- ▶ Twitterアカウント：滋賀県・サステナブル滋賀×SDGs

滋賀県 総合政策部 企画調整課
 電話：077-528-3312
 e-mail：ad0002@pref.shiga.lg.jp